

## 行事予定・行事報告

### 9月の予定

- 1日(木) 始業式
- 16日(金) 誕生会
- 22日(木) 避難訓練

### 10月の予定

- 8日(土) 運動会(にじ~そら組)
- 14日(金) 健脚活動
- 18日(火) } 入園見学会①
- 19日(水) }
- 24日(月) 避難訓練
- 26日(水) } 入園見学会②
- 27日(木) }
- 誕生会
- 28日(金) 熊山登山(そら組)
- 29日(土) 桜が丘文化祭(そら組)

### 水あそび



今年は、新園舎になって初めての水あそび&そらほし組は3年ぶりのプールをしました。泥あそびや絵の具、泡、氷など様々な素材を用いて夏のあそびを楽しみました。中には汚れることや裸足で遊ぶことに抵抗がある子もいましたが、少しずつ自分から触れてみたり裸足で土の感触を感じたりできるようになってきています。



### なぜ? に答えます!!!

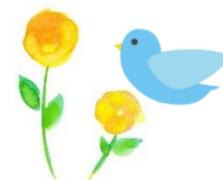
#### 「なぜ上靴を履かないの?」

子どもにとって足の発達はとても大切です。裸足は土踏まずの形成に役立ち、健康な身体づくりに繋がります。土踏まずをきちんと形成することにより、体幹が鍛えられ子どもたちの運動能力を向上させることができます。また、足の裏にはたくさんのツボがあり、裸足で歩くことで足裏感覚が活性化します。…というふうに裸足で生活することはいいこと尽くしなんですよ。



### 給食室の窓

これはみそ汁などに入れるだしの「いりこ」です。はらわたなど苦く感じる部分を取り、カリカリになるまでよく焼きます。焼いた後はフードプロセッサーで粉々にします。みそ汁を飲んだ後に粉が残るのはこのだしが入っている証拠なんです。



# あすなろっこ



令和4年9月1日発行

社会福祉法人岡山子ども協会 あすなろこども園

〒709-0802

岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19

TEL (086) 955-5665

こども園のホームページ  
クラスのブログもみてね!



<https://asunaro.okayamakodomokyoukai.jp>

あすなろこども園

検索

### 『感じる力』

「これ苦いから食べれん」給食で出たゴーヤチャンプルーに悪戦苦闘のこどもたち。「えっ、なにに。どんな味がする?」と聞き返す私に、「給食先生、なんで、こんなに苦いの作ったの?」「苦すぎる」と訴えてきます。「えっ、にがいのがわかった?そうそう、ゴーヤは苦いんだよ。苦くて正解。食べ物にはいろんな味があるよね。この緑のゴーヤが苦いんだよ。でも、この赤いニンジンが苦くないと思うよ」とお皿の中のニンジンを指さす私の顔を見ながら、何人かのこどもがそっと口に運びます。「ん〜」と苦い顔のままの子もいれば、「ニンジンおいしい」とにっこりになる子もいます。

人間は、本能的に緑色の食べ物はまだ熟していないもの、また、苦味は毒のあるものと感じる力をもっています。こどもがゴーヤを食べないのは当然です。これから食の経験を積むことで、この苦味は食べてもいいものだと感じたり、おいしそうに食べる人を見て、自分も食べてみようと思ったりします。「おいしくなあれ、と思いながら一生懸命作ったんだよ」とこどもたちに伝えると、苦そうな顔をしながらも、少しずつ食べるこどもたち。「次は、おやつケーキにいれるよ」と言うと、「えー」と何とも言えない声が聞こえてきました。

新しいものや未知なものに出会ったときに感じる衝撃、感激、愛情などのさまざまな感情は、そのものについてもっと知りたいと思う気持ちにつながります。そうして見つけ出した知識は、しっかりと身につけていくのです。食の経験を通して、こどもと一緒にたくさんを感じていきたいです。

栄養士 延岡 恵子

### 知って!こども園

#### 「屋上の壁」

屋上の壁は南北ともに防音壁になっています。春にはおやつを食べたり、夏にはプールをしたりしている屋上。こどもたちが気持ちの良い空の下で過ごしています。

防音壁とはいえ、こどもたちの元気な声は空まで届くほどかもしれません。保育園開園から42年、地域の方の理解あってこそ園の運営ができています。



# 描画紹介

## 描画って？

紙いっぱいに思いおもいの絵を描きます。こどもたちは自由に描きますが、その絵を見て私たち職員は個々の発達段階を知ったり、一人ひとりの心情に思いを馳せてどんな思いやイメージを持っているのか考えることを大切にしています。

この時期（1～2歳頃）の描画は、全身運動のためイスに座って描くのではなく、両足を踏ん張って立ち姿勢で描けるようにします。

（☆身体の育ちと密接な結びつきがあり、手を自由に動かすことのできる下半身の安定も大きな要因となります。）

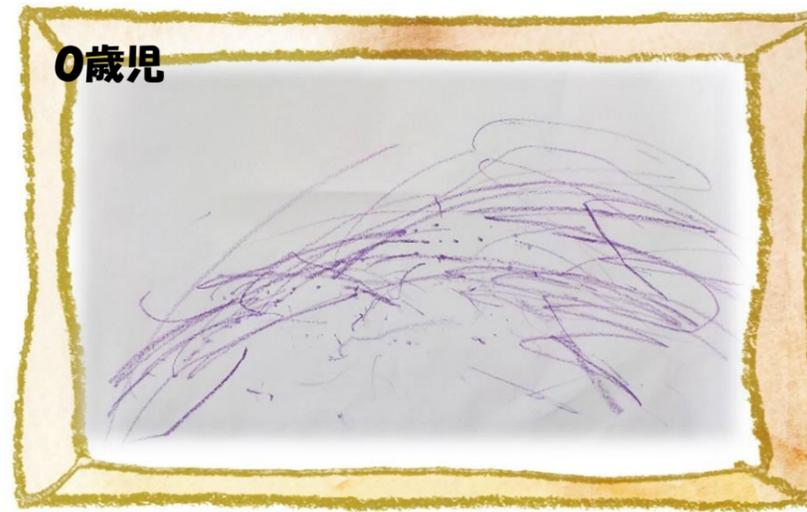
★各年齢での発達の目安を載せています。



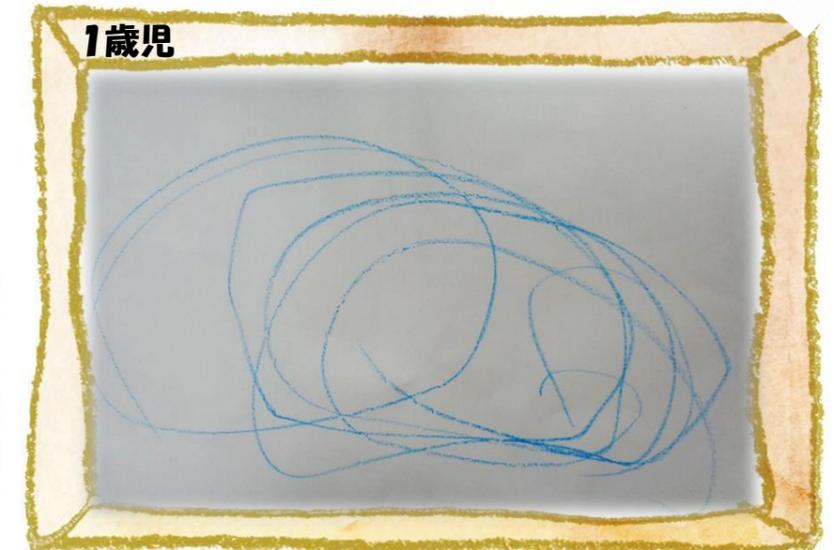
## 【手の痕跡運動】

1歳頃から始まる乳児のなぐり描きは最初は肩を軸とするきわめてぎこちない動きで描く点々のなぐり描きになります。

## 0歳児



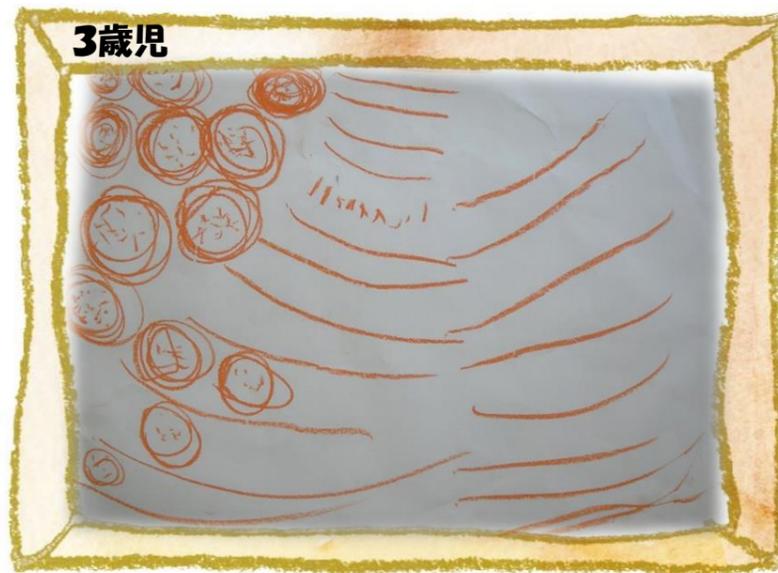
## 1歳児



## 【手の痕跡運動・なぐり描き】

肩と肘が連動すると大きな渦巻き状のような形になってきます。

## 3歳児



## 【たくさんの丸でおしゃべり】

線や丸で思いを語る（象徴する）ようになります。なぐり描きの線や丸に、あとから言葉で意味をつけて、おしゃべりが加わります。それがだんだん、描きたいものが先に浮かんで、それに従って手が動かなくなぐり描きになっていきます。

## 2歳児



## 【手と目の協応】

小さいうずまき型のなぐり描きや上下往復している線、また1本だけの線（始まりと終わりのある線）が描けるようになってきます。

## 5歳児



## 【興味を持ったとおりに描く】

何を描いたのか大人にもよくわかる、その場を再現したような表現に発展した絵になるのが特徴です。並べがきという並列描写が現れ始めます。

## 4歳児



## 【イメージで描く時代の始まり】

経験したことを表そうとすることが増え、先に頭の中にイメージをして絵を描くようになってきます。

